

令和元年 6 月 8 日

日本ウツボカズラ協会設立にあたって

合同会社 HIPS 代表社員 鈴木廣司

拝啓

新緑の候、新たな元号令和を迎えますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆さまより平素から格別のご高配を賜り心より感謝申し上げます。食虫植物愛好家の裾野を広げる活動に微力ながら貢献出来ている事を嬉しく思います。

これまで諸先輩方のお力をお借りし、数々のイベントへの出店や展示会の企画等を通じ、プラアマ問わず様々な食虫植物関係者と交流してまいりました。近年では、インターネットの発達と共に食虫植物が容易に手に入る時代となってきました。個人輸入もボタン一つで行える時代、弊社のような販売業者が植物を提案、販売すると同時に何か出来ることは無いかと数名の有志と長い協議の後、主題の協会設立を思い立ちました。

現在、我が国では数々の食虫植物愛好団体が存在しそれぞれ多数の会員を有し様々な活動が行われていますが、我々は *Nepenthes* に特化した会を立ち上げようと考えました。熱帯地方原産 *Nepenthes* は、食虫植物愛好家の中でも人口が少ないのではないかと感じます。それと言うのも栽培環境、温度・湿度・光線の管理が非常に難しく、一番敬遠される理由は栽培スペースの確保が非常に困難である事です。それらの理由により、食虫植物愛好家でも小型種を扱う愛好家は多くいらっしゃいますが、同属を主として栽培している方々は少ないのではないかと感じています。そのため *Nepenthes* を育て上げるテクニックに関する情報は少なく、これらの栽培家の情報交換・栽培技術の向上を図る為にまた同属への栽培を始めたい方への情報提供の場を作りたいと思います。

日本国内でも戦後間もない頃から数々の育種がされてきた同種ですが、今では昔の銘品を目にする機会も少なくなってきました。それら *Japanese Hybrid* の増殖・保存。また、それらの交配記録もデータ化して残して行くべきだと考えました。協会の事業として *Nepenthes* の品種登録制度を作り次世代への資料作りをして後世に残すことが出来ると思っています。次に、展示会・品評会の開催です。プラアマ問わず丹精込めて栽培された *Nepenthes* は素晴らしい物が多くこれらをお互いに出展し見せあう事で栽培意欲・技術の向上に努めまた、*Nepenthes* の発展にも繋がる会を催したいと思っています。過去にも *Nepenthes* の品評会を開催した事がありましたがなかなか植物が集まらないのが現状でした、回を重ねる事で浸透し垣根の無い品評会を開く事が出来ると思っています。

2020年1月1日発足を目指して現在動いております。会の趣旨にご賛同頂ける *Nepenthes* 愛好家の皆さま、販売業者、愛好家、肩書は問いませんので是非とも会へ御入会頂き一緒に *Nepenthes* を盛り上げて行きましょう。当面は品種登録制度の制定、関係機関と連携し品評会開催が主な活動となるかと思っています。皆さまのご協力無くしては本会の活動は成立致しませんのでご協力よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら皆さまの一層のご発展をお祈り申し上げます。

まずは略儀ながら書中にてお知らせ致します。

敬具